

質疑・回答書

告示番号		件 名	豊中市立第四中学校校舎改築工事
No	質疑事項	回 答	
	(構造)		
	〈増築校舎〉		
1	(S-13・S-16・S-17) 2階梁伏図においてY2.Y3通りのCG3の梁レベルは軸組図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。	
2	(S-15・S-17) 塔屋伏図においてG8の範囲はX2-X3間のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	X1-X3間です。	

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076
 FAX 06-6858-7225
 E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp

No	質疑事項	回 答
3	(S-09・S-18) X4通り軸組図においてY3-Y4間に増打ちの図示がありますが梁がありません。増打ちは無いものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
4	(D-047・S-13・14・15) 階段室詳細図-2においてY3通りの梁側面に増打ちがありますが範囲はX5-X12間と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	X2-X3間及びX13-X14間の2階梁(3G)~4階梁(RG)が工事範囲となり、1階梁(2G)は増打ち不要となります。
5	(S-13・14・15) 各階伏図において特記無き大梁天端レベルは小梁に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	スラブと同レベルとしてください。
6	(D-005・S-01) 特記仕様書-2の混和材料において混和剤がAE剤、AE減水剤となっていますが土間コンクリートを除くFc21以上に高性能AE減水剤を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
7	(S-27) 梁貫通孔補強筋標準図において孔上下の配筋径が不明です。D22を上下2本ずつ配筋すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D22上下2本ずつの配筋です。 鉄筋の長さは孔径際から30d(660mm)定着を取った長さとなります。
8	(D-028-02・03・S-28・29) 基礎伏図-2.3において梁貫通の位置は構造配筋標準図、梁貫通孔補強筋詳細図によるとありますが補強が必要な箇所は梁貫通孔補強(1).(2)に記載があるものが全てと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

No	質疑事項	回 答
9	(D-084・S-25) 雑詳細図(1)に空調機架台アンカーボルト4-M16とありますがL=400とし太陽光パネル架台も同様と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	アンカーボルト長さL=400とします。 太陽光パネル架台は別途工事ですが設備架台と躯体を接続するアンカーボルトの施工までが本工事です。

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈渡り廊下〉</p>	
10	<p>(S-31) コンクリートにおいて基礎部は$F_c=27$ $S=15$とし、地上部は$F_c=27$ $S=18$と考え土間コンクリートは$F_c=21$ $S=15$と考えて宜しいでしょうか。また、$F_c=27$に高性能AE減水剤を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
11	<p>(D-050・S-30) 土間コンクリートの範囲が1階梁床伏図と1階平面図で相違しています。1階平面図及び断面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>D-050 1階平面図・断面図、D-051 断面図を正として下さい。</p>
12	<p>(S-31) 土間コンクリートはダブル配筋と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
13	<p>(D-050・S-30) 渡り廊下詳細図-1と渡り廊下詳細図(1)で上部のスラブ厚及び梁レベルが相違しています。上部梁天端=スラブ天端=FL-30と考えてスラブ厚は渡り廊下詳細図(1)が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>スラブ配筋、梁配筋の納まりを考慮して梁天端レベルをスラブ天端レベルより下げています。 構造スラブ厚さ及び高さはS-30、S-31 の通りですが、床の水勾配を考慮しD-050、D-051では増し打ちしています。</p>
14	<p>(S-10・30) 基礎梁天端の増打補強要領は増築校舎に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈便所棟〉</p>	
15	<p>(S-32) コンクリートにおいて基礎部は$F_c=24$ $S=15$とし、地上部は$F_c=24$ $S=18$と考えまた、$F_c=24$に高性能AE減水剤を適用すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
16	<p>(S-10・32) 基礎梁天端の増打補強要領は増築校舎に倣うと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
17	<p>(S-27) 梁貫通孔補強筋標準図において孔上下の配筋径が不明です。D19を上下2本ずつ配筋すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>D19上下2本ずつの配筋です。 鉄筋の長さは孔径際から$30d$(570mm)定着を取った長さとなります。</p>

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈既存改修〉</p>	
18	<p>(D-255) コンクリートの強度とスランプは、土間コン FC24+S S-15、躯体 FC24+S S-18と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	D-016 8-4 コンクリート工事を参照下さい。
19	<p>(D-255) 鉄筋と既存コンクリートの取合いは後施工アンカーとありますが、接着系アンカーと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
20	<p>(D-255) 接着系アンカーはナット無し埋込長さ8d+定着40dと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	よろしいです。
21	<p>(D-255) 既存鉄筋と新設鉄筋のフレア溶接は片面10dと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	有効片面10dもしくは両面5dとし両端1dづつ余長を見込んで下さい。
22	<p>(D-221) 壁開口閉鎖部の壁上部H=200は無収縮モルタル FC30と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。 ただし無収縮モルタルの仕様は、D-16 8-6グラウト工事によってください。</p>

No	質疑事項	回 答
	(外部)	
	<増築校舎・渡り廊下・便所棟>	
23	(D-064/A-2) 部分詳細図の防水アゴ下端に「撥水剤塗布」の記載がありますが、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	撥水剤塗布として下さい。
24	(D-020・033) 外部仕上表において屋上にオーバーフロー管が記載されていますが、平面図ではオーバーフロー管の記載がありません。1ヶ所見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
25	(D-033・047) 屋上階段室出入口に3段程度の踏み段が記載されていますが、仕上は下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・モルタル仕上 ・段鼻にはノンスリップタイル	踏面、蹴上部モルタル金コテ仕上、段鼻ノンスリップタイル貼として下さい。
26	(D-020・034・093/A-49) 渡り廊下の縦樋において下記の通り食い違います。立面図・部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・仕上表 → カラーVP ・立面図・部分詳細図 → ステンレス ○正	立面図・部分詳細図を正とし、ステンレス製として下さい。

No	質疑事項	回 答
27	<p>(D-097/A-52) 西面ルーバーにおいて下地のアングルピースの仕様が平面詳細図と断面詳細図で食い違っています。下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> <p>・アングルピース L-200*150*9 L=200 @1490 リブプレート PL-9 アンカーボルト 2-M16 L=560</p>	<p>アングルピース L-150×150×10 L=200 @1425 リブプレートPL-9 アンカーボルト 2-M16 L=560 として下さい。</p>
28	<p>(D-087/A-28) 靴拭きマット下の泥溜まり部分にグレーチングのような記載がありますが、仕様等の詳細を御指示下さい。</p>	<p>鋳鉄製みぞ蓋(側溝用) 500×250×t15 です。</p>
29	<p>(D-101/A-57) 南面ポーチのスロープ立上りにおいて一部吹付タイルの記載がありますが、全て撥水剤で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>設計図記載通りとして下さい。</p>
30	<p>(D-088/A-34) 外部手洗いにおいて上裏の仕上は打放し補修仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>打放し仕上B種として下さい。</p>
31	<p>(D-028-03) 基礎伏図において地中梁の打継部分に自閉性樹脂防水の記載があり、範囲がピット以外の土間廻りにも打継が必要となっています。図示の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>図示のとおり地中梁打継部分全てです。</p>
32	<p>(D-050・086/A-17) 渡り廊下のグレーチング蓋において平面詳細図では短辺のみですが、部分詳細図では手摺側にもグレーチングがあるような記載となっています。ステンスグレーチングは短辺のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 但し、1F部分は長辺側にも設けるものと考えます。</p>	<p>グレーチング蓋設置範囲は下記の通りです。 2・3・4階⇒短辺のみ 1階⇒短辺、長辺出入口部 ※1階長辺出入口部グレーチング仕様 ステンレス製U字溝W=100、細目ノンスリップ歩行用</p>

No	質疑事項	
33	(D-087/A-26) 床のEXP.J金物はステンレス製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-23 外部EXP、Jの仕様に基づきアルミ製として下さい。
34	(D-087/A-26) EXP.J金物下の受樋・水切においてステンレスの厚みを御指示下さい。	SUS304 t=1.0mm として下さい。
35	(D-073・087/A-26) EXP.J金物下の受樋及び水切において、新築側には記載されていますが、既存側はEXP.J金物(天井用)のような記載となっています。天井伏図でも天井用のEXP.J金物が記載されている為、受樋・水切は新築側のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存側も新築側と同様の納まりです。 天井伏図にて記載の EXP-J は受樋、水切を表現しています。
36	(D-010・D-051) 天井廻り縁において特記仕様書では塩化ビニル製○印が付いていますが、渡り廊下詳細図ではアルミ製となっています。外部天井廻り縁はアルミ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-051を正とし、外部天井廻り縁はアルミ製として下さい。
37	(D-033) 屋上東面の丸環において表記がルーフトレインと被っていて、箇所数が不明確です。ドレイン部分にも丸環があるものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ドレイン部にも丸環を設けます。 設置個数は31個です。
38	(D-036・D-084/A-5) 鳩小屋の壁仕上において下記の通り食い違います。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・立面図 → 吹付タイル(凡例ア) ・部分詳細図 → 塗膜防水 ○正	ハト小屋「屋根天端」、「防水立上りアゴ部」を塗膜A、壁見付部(防水立上りより上部)は吹付タイルです。

No	質疑事項	回 答
	<p style="text-align: center;">〈既存改修〉</p>	
39	<p>(D-253/A-100) 階段室B屋根において軒天仕上の廻縁部分に「天井材受金物 フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4」と記載されていますが、アルミ製廻縁も見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>フッ素樹脂ガルバリウム鋼板 t=0.4 曲げ加工とし、アルミ製廻り縁は不要です。</p>
40	<p>(D-256) パラペット・防水アゴ・設備基礎において塗膜防水の塗替が記載されていますが、既存塗膜除去として、高圧洗浄を見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>既存塗膜防水は除去せず残します。 付着物等の除去、掃除は水洗い程度見込んで下さい。</p>
41	<p>(D-201・214) 外部仕上表において14棟にも「縦樋養生管：一部DP塗替」の記載がありますが、立面図には27棟にしか記載されていません。14棟には縦樋養生管の塗替は該当無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>14棟には縦樋養生管の塗装替えはありません。</p>
42	<p>(D-208～211・216) 屋上Bの縦樋撤去において平面図では1F部分まで撤去の記載となっていますが、階段室B詳細図ではRSLまで撤去となっており、階段詳細図Bを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>D-216 階段詳細図Bを正とし、RSLまで撤去とします。</p>
43	<p>(D-201・209・256) ルーフBのパラペット・防水アゴにおいて仕上表・部分詳細図で「塗膜防水塗替」が記載されていますが、平面図よりパラペット・防水アゴ共に、ルーフAにつながっているように思われます。塗膜防水の塗替はルーフBの範囲のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>設備架台基礎の天端・立下り、外壁塗装部の防水立上りアゴ部のみ塗膜防水塗替とします。</p>

No	質疑事項	回 答
44	(D-213・214) 14棟の改修前東側立面図においてサッシ足元撤去部分に凡例A2(RC+防水MOコテ:撤去)が記載されていますが、改修後東側立面図では凡例a3(防水MOコテ:新設)となっています。改修前の撤去も防水モルタルのみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	改修前撤去として新設建具取付用躯体ハツリを、改修後としてサッシ回り防水 MO詰め及び立上り壁整形用防水MO塗りを見込んで下さい。
45	(D-213・214) 27棟改修東立面図においてA通りの縦樋の凡例がg2(縦樋:DP塗替)となっていますが、既存立面図では撤去となっています。凡例をg3(縦樋新設)と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存縦樋は残置・塗装替[支持金物共]とします。
46	(D-214) 立面仕上凡例において「目地無き部分については10*10の目地を新設」と記載されていますが、現状の範囲が不明です。改修範囲内に@3000程度で見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	外部建具枠と外壁取合い部を示します。
47	(D-012) 塗膜防水は「L4X工法 X-2」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 又、カラーは指定色と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	塗替え部は L4X工法 種別は塗替、新設共 X-2 です。 仕上塗料塗り色はメーカー標準色とします。
48	(D-017-02) 特記仕様書の追記事項において(2)下地調整の1.に「上記下地補修箇所」と記載されていますが、上記とはどの部分を示しているのでしょうか。御指示下さい。	モルタル塗り仕上面の下地補修箇所を示します。
49	(D-017-02) 鉄部の既存仕上はSOP塗と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存鉄部塗装はSOP塗です。既存鉄部塗装改修はDP塗です。

No	質疑事項	回 答
	(内部)	
	<増築校舎>	
50	(D-007) 特仕様書-4 金属工事 軽量鉄骨天井下地に天井下地材における耐震性を考慮した補強 図示 とありますが、図示がありません。適用なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	本工事においては適用がありません。
51	(D-023-091) 使用材料表にマップハンガーとありますが、部分詳細図-8ではマップハンガーに×印があります。適用なしと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	マップハンガーは不要です。
52	(D)-019) 仕上凡例・防火・耐火リスト図の内部仕上基準床リストに二重床下の防塵塗装がありますが、メーカー同等品がありましたら御指示下さい。	(株)エービーシー商会 水性型アクリル樹脂系防塵床塗料「OAクリアーコート」同等品とします。
53	(D-023-073) 1F多目的室の大型カーテンレール取付部のカーテンの仕様・メーカー程度を御指示下さい。	D-23 使用材料表 暗幕・カーテンの仕様として下さい。

No	質疑事項	回 答
54	(D-057-081) 1F技術科準備室の②方向展開図のY1通りに壁点検口がありますが、建具壁点検口SD8同仕様程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ビニル壁用点検口枠(ビス取付タイプ)仕様です。
55	(D-019-058) 使用材料表に、手洗い 学校図書館 洗面化粧台とありますが学校図書館詳細図では点線で<手洗い>とあり設備工事のような記載です。建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	設備工事です。
56	(D-22) 便所の化粧鏡が仕上表では建築工事外と明記あります。設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建築工事に含まれます。 W350×H800 化粧鏡(一般鏡)面取りタイプです。
57	(D-22) PS・EPSでLGS面は石膏ボードt=12.5 素地仕上で貼るものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	石膏ボード12.5d + 硬質石膏ボード9.5d 張り、素地仕上です。
58	(D-052) ペーパーホルダー等設備工事の下地補強は設備工事(別途)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建築工事とします。
59	(D-028-1) メンテナンスピットで立上りH300は塗布防水。スラブより下りH450は断熱材t35打込。その他部分の壁は打放素地補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

No	質疑事項	回 答
	(建具)	
	〈増築校舎〉	
60	(D-081) SSD-1.2の扉部のガラスは、TG5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	TG-6mm です。
61	(D-081) SSW-1において、FIX窓部分に※の記載がありますが、飛散防止フィルム貼と考えて宜しいでしょうか。又、ガラスブロックの参考メーカー及び品番がありましたら併せて御指示下さい。	飛散防止フィルム貼です。 日本電気硝子㈱「オパリーンプレーン」程度の想定です。
62	(D-082) LSD-3の引残しW寸法は、W120と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
63	(D-083) WD-1の引残しW寸法は、W200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

No	質疑事項	回 答
64	(D-007・077・081) ステンレス建具の仕上がり、下記のように相違します。HLを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 <input type="checkbox"/> 建具表・建具一般事項:HL <input type="checkbox"/> 特記仕様書4 16建具工事:パイプレーション	「HL」仕上として下さい。
65	(D-007・077) アルミ建具 耐風圧について、建具表一般事項ではS-5ですが、特記仕様書4 16建具工事はS-5(4階以上はS-6)です。特記仕様書4を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	特記仕様書-4を正とします。
66	(D-008・077・090) アルミ建具のガラス押えシーリングにおいて、建具表一般事項はSR-1、特記仕様書5 16建具工事はガasketです。部分詳細図7でもシーリングの図示の為、SR-1を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	SR-1を正とします。 但し特定防火設備、防火設備は各々の認定仕様によります。
67	(D-081) SSW-1 ガラスブロックの参考メーカー及び品番がありましたら御指示下さい。	日本電気硝子㈱ 「オパリーンプレーン」程度を考えています。

No	質疑事項	回 答
	〈既存改修〉	
68	(D-240) 改修前後 建具伏図-1 14棟9通りC-D間のWF-101は、建具表よりWF-103と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 WF-101はD-246図記載のWF-103と読み替えてください。

No	質疑事項	回 答
	(外構)	
69	外構工作物のコンクリートを、FC=21N、S15、捨てコンクリートをFC=18N、S15程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。 但しゴミ置場は FC=24N+S、S18とします。
70	(D-137) バックネット基礎の配筋を御指示下さい。	ひび割れ防止鉄筋として、かご状に D10@300 (タテ、ヨコ共)として下さい。
71	(D-137) テニスコート外周ネットフェンス基礎は現場打でしょうか。現場打ちの場合、基礎部の配筋を御指示下さい。	建柱車による建込みを想定していますのでコンクリートは無筋です。
72	(D-131) 外構詳細図-3ベンチ-1a、ベンチ-1b詳細において、ベンチ-1b:L=6450が内訳ではベンチ-1aになっています。参考内訳通りベンチ-1aと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-131 を正とし、ベンチ-1b です。
73	(D-127) 参考内訳ベンチ-1b:L=2250が、外構平面図-2ではベンチ-1aです。参考内訳通りベンチ-1bと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-127 を正とし、ベンチ-1a です。

No	質疑事項	回 答
74	(参考内訳 屋外付帯 ベンチ工事) 参考内訳ベンチ-1b:L=2400が図面では見当たりません。必要とし、見込むものと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	D-127 を正とし、ベンチ-1a L=2400 とします。
75	(D-130) 目隠しルーバー及び扉コンクリート基礎が有筋の場合、配筋を御指示下さい。	ひび割れ防止鉄筋としてかご状に D10 @300 (タテ、ヨコ共)端部は D13 として下さい。
76	(D-137) バックネット足元コンクリートブロック積について、化粧積とありますが、断面詳細図には下地調整+アクリルシリコン樹脂系塗料塗とあります。化粧積なので、下地調整及び塗料は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	化粧積の上アクリルシリコン樹脂系塗料塗とします。
77	(D-138) 雨水貯留槽において、GLより雨水貯留槽天端までの深さがH=500以上とありますが、H=500と見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	土被り H=500 を見込んで下さい。
78	(D-130) 外構詳細図-2手洗い場に既製品とありますが、詳細図では現場打のようです。いずれが正でしょうか。詳細を御指示下さい。	既成品とします。 D-023図「手足洗い場」同等品以上を考慮下さい。
79	(D-130) 上記手洗い場の柵グレーチング蓋廻り床、立上り、笠木を、防水モルタル仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	石調吹付塗装仕上げ工場製作品としてください。

No	質疑事項	回 答
80	(D-131) 外構詳細図-3スツール基礎の配筋を御指示下さい。	無筋コンクリートです。
81	(D-139) 外構詳細図-11自転車置場詳細及びゴミ置場に、樋受石がありますが、仕様を御指示下さい。	コンクリート二次製品とし、D23 使用材料表に記載しております都建材工業(樋受石大)を想定しております。
82	(D-139) ゴミ置場外壁に打継目地、誘発目地がありますが、シーリングの仕様、寸法を御指示下さい。	誘発目地、化粧目地とし幅15mm 深さ15mm 片テーパ(横)、両テーパ(縦)形状として下さい。 シーリングは PU-2 とし、3mm落ち程度で仕上げ吹付タイルかぶせとして下さい。
83	(D-139) ゴミ置場天井仕上を、内壁と同様モルタル左官補修と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	コンクリート打放し仕上とし、仕上げの種別は A種として下さい。
84	(D-139) ゴミ置場屋根オーバーフロー管の径が、屋根伏ではφ50ですが、立面ではφ20です。φ50と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	φ50 として下さい。
85	(D-137) 外構詳細図-9 K-2:テニスコートフェンス詳細の中に、縁石の詳細がありますが、範囲が不明です。詳細な範囲を御指示下さい。	縁石の形状は W200mm、H200mm、根入れ50mm 配筋長手方向上下端部 D13、縦筋 D10シングル@300、誘発目地V型@4.0m 設置範囲は D-128図「H=6m K-2」の範囲です。

No	質疑事項	回 答
86	(D-137) テニスコートネットフェンス、門扉のメーカー品番を御指示下さい。	テニスコートネットフェンスは D-023図 外構「防球フェンス(テニスコート)」メーカー同等品以上とし、門扉は同メーカー品と考えています。
87	(D-139) ゴミ置場内部床合成樹脂塗床のメーカー品番を御指示下さい。	(株)エービーシー商会「ケミクリートE」流しのペコーティング工法同等品を考えています。
88	(D-029) 1階平面図階段室2X12通り側屋外にフェンスと門扉がありますが、フェンスの仕様、H寸法及び門扉の仕様、寸法を御指示下さい。	平面・断面寸法・フェンス基礎仕様は D-053 によって下さい。 門扉丸落し、南京錠付として下さい。 フェンス、門扉仕様は外構フェンスに合わせてください。
89	(D-029) 上記フェンスの内側は基礎でしょうか。コンクリート基礎等が必要な場合は、基礎のサイズ、断面、配筋、地業、根入寸法等を御指示下さい。	D-053 によって下さい。
90	(D-135) 既存運動施設利用案内板の仕様詳細を御指示下さい。	樹脂板 900×900×2枚 一時取外し、門扉1、2改修後既存CB塀に再取付です。
91	(D-135) 既存夜間学級案内板の仕様詳細を御指示下さい。	枠:アルミ製、案内板:亜鉛鉄板 W=1900 H=950 設置位置、図面記載部取止め、W-6C 付近の既存CB塀に再取付けとします。

No	質疑事項	回 答
92	(D-136) テニスコートのネットの仕様詳細を御指示下さい。	ポリエチレン有結線 440T/60本(黒)
93	(D-126) W-5校舎南側スロープ土留壁の範囲について、外構平面図-1では建物南西のスロープ廻りの12.74m程度ですが、参考内訳では23.9mです。前記以外に範囲がありましたら御指示下さい。	南西部「W-5」と北側「デッキ-2」アプローチへのX1通り平行の「スロープ」部です。
94	(D-136) 門扉-3の仕様及びメーカー品番を御指示下さい。	D-023 外構門扉-3 同等品以上として下さい。
95	(D-127) 外構平面図-2のW-7(H=500~600)の断面詳細を御指示下さい。	D-130 「W7」詳細図 参照下さい。
96	(参考内訳屋外付帯工事困障) 参考内訳屋外付帯工事困障に、CB塀A控え壁補強 5ヶ所とありますが、図示がありません。範囲及び補強詳細を御指示下さい。	D-257 参照下さい。
97	(参考内訳屋外付帯工事困障) 参考内訳屋外付帯工事困障に、CB塀B控え壁補強 14ヶ所とありますが、図示がありません。範囲及び補強詳細を御指示下さい。	D-257 参照下さい。